

薬学シンポジウム 薬剤師の存在意義

—変革期に求められる薬局・薬剤師像—
病院薬局の立場から

2009年9月5日(土)

医療法人大平会 嶺井第一病院 薬剤部

又吉 康貴

【薬剤師法(昭和35年法律第146号)第1条】

薬剤師は、調剤、医薬品の供給
その他薬事衛生をつかさどること
によって、公衆衛生の向上及び増
進に寄与し、もって国民の健康な
生活を確保するものとする。

薬剤師に期待されること

- ・医療の担い手としての行為

処方箋調剤 情報提供 疑義照会 在宅
疼痛緩和 医療安全確保

医学・薬学的管理

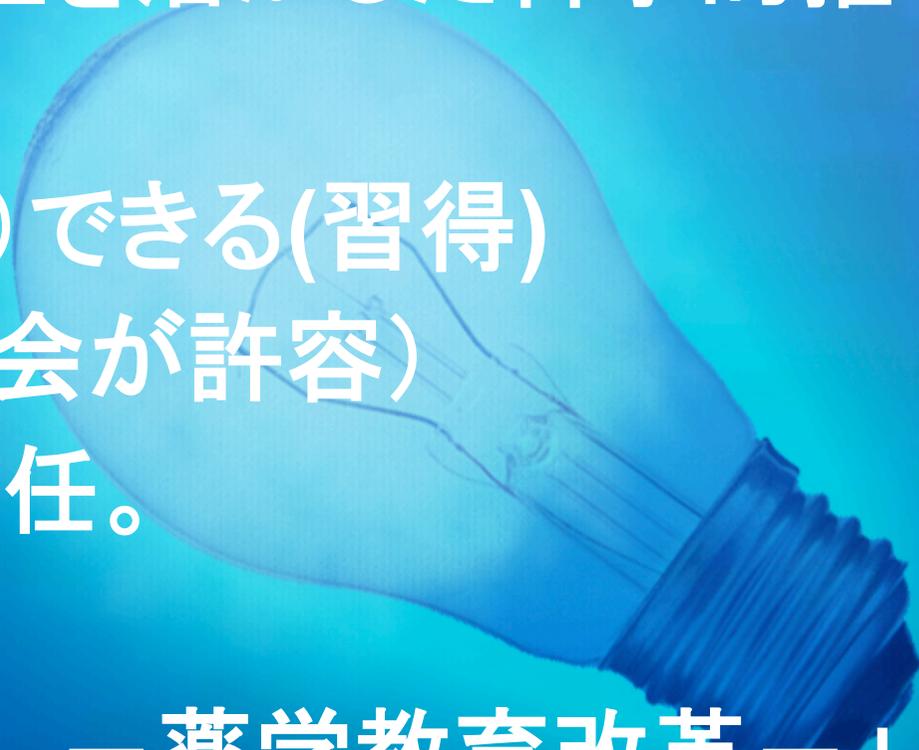
処方設計 代替調剤 分割調剤 一包化
薬局製剤など

- ・国への副作用報告、企業への情報提供

- ・一般薬の販売

- ・教育 普及 啓発 公衆衛生 社会の健全化
など



- 期待される薬剤師への「意識改革」とは
- 多種多様な事象(社会、医療、患者)への的確な判断。(内容、優先度、時期)
 - 「知識の提供」にとどまらず、「知識と知識」を組み合わせ、**「専門性を活かした科学的推測」**を創出。
 - 2種類の「能力」:**(絶対)できる(習得)**
(実践)できている。(社会が許容)
 - **積極的関与(介入)と責任。**
- 

「厚生労働省 一薬学教育改革一」

そこで……！！

薬剤師の行為が、

「こうなったら…どうしよう。(>_<)」

【Negative (否定的) なイメージ】

↓ ↓ ↓ < シフト >

「誰が得をするのだろうか。(^_^)v」

【Positive (積極的) なイメージ】



さらに…!!!

「薬剤師に期待されること」
「期待される薬剤師への意識改革」
が
実践できる『環境』『現場』であるか
を
客観的に分析する。

A glowing lightbulb is positioned on the right side of the slide, partially overlapping the text. The lightbulb is illuminated from within, casting a warm glow against the dark blue background. The filament is visible inside the glass bulb.

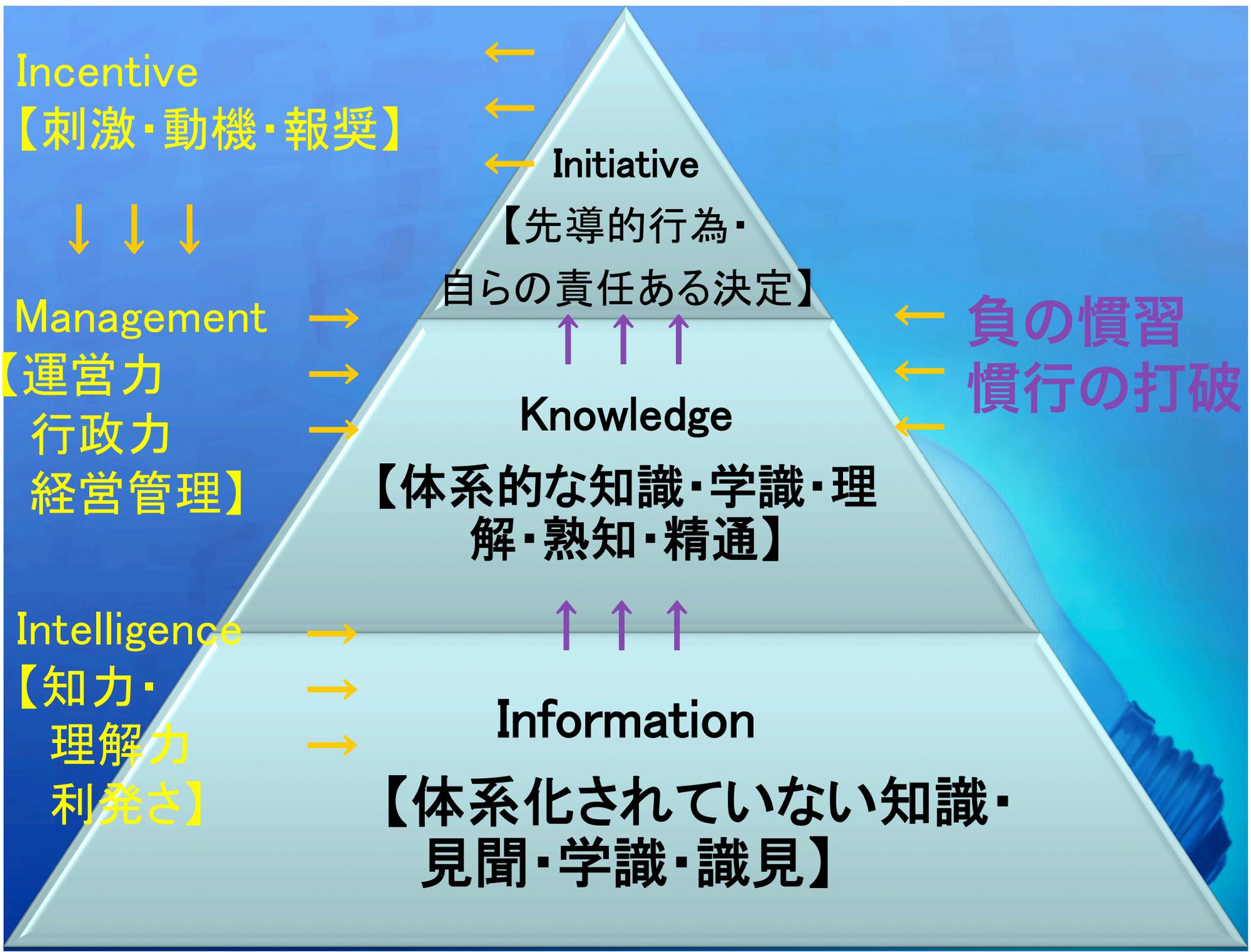
もし…

実践できない『環境』『現場』であるならば…



薬剤師自身の

『創意工夫』『自己の研鑽』をもって環境の整備や現場づくりに努めなければならない。



Incentive
【刺激・動機・報奨】



Management
【運営力
行政力
経営管理】



Initiative
【先導的行為・
自らの責任ある決定】



Knowledge
【体系的な知識・学識・理
解・熟知・精通】



Intelligence
【知力・
理解力
利発さ】

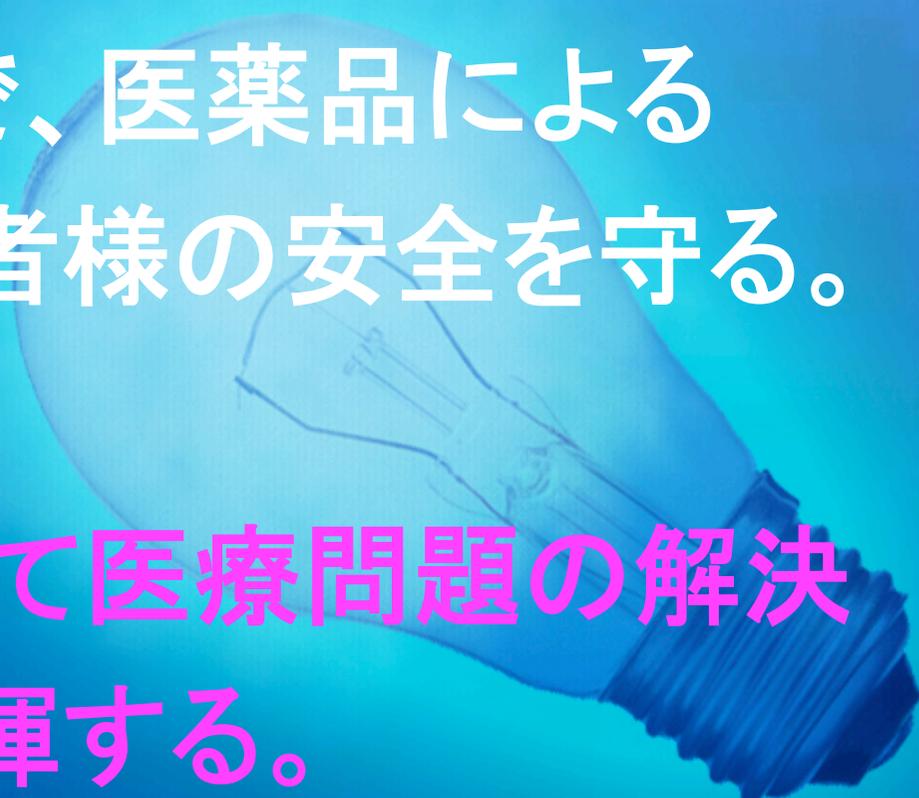


Information
【体系化されていない知識・
見聞・学識・識見】

負の慣習
慣行の打破

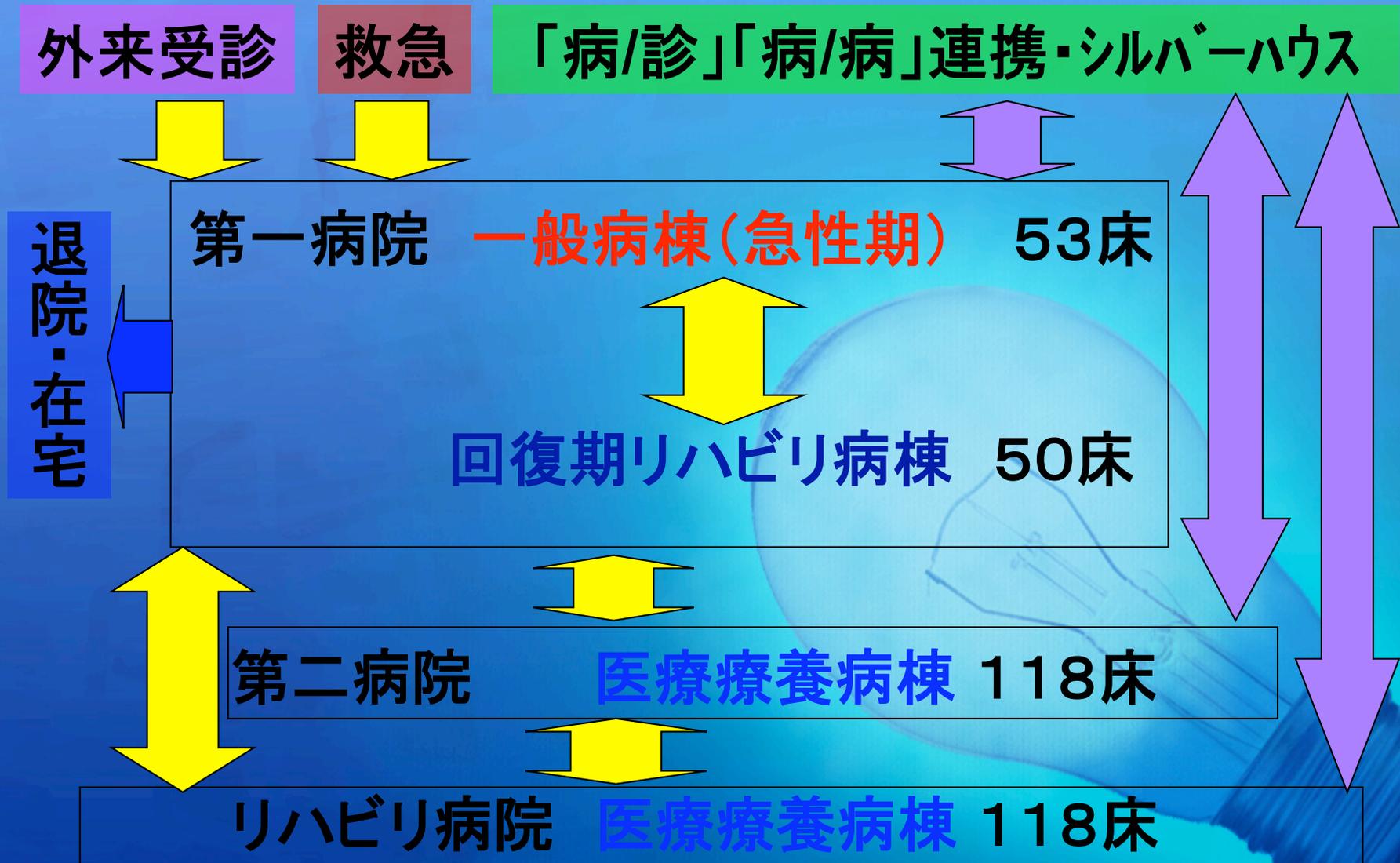


医療法人大平会 薬剤部 目標

- ・医療の担い手の一員として他部署との情報交換を行いチーム医療に取り組む。
 - ・医療提供体制の中で、医薬品による医療事故をなくし患者様の安全を守る。
 - ・社会的な視点を持って医療問題の解決にイニシアチブを発揮する。
- 

医療法人大平会

病院機能分担の状況(平成21年3月以前)



病院では、「人件費」5割・「材料費」3割という現況において、公的病院のほとんどが赤字、一部の民間病院のみが黒字を保っていることが報告された。

今後病院では、全国チェーン化などによる「水平統合化」は激減し、グループ内機能分担による「垂直統合化」が主流となる旨の話しが大変印象に残った。

一方、度重なる診療報酬改定により特に「療養型病院」はそのメリットが失われ、苦しい経営状況であることも示唆された。

当院においては、「脱医療」を担うシルバーハウスの準備を急ぐ必要がある。

また、このような現状において病院薬剤師の担う業務は「機能分担に準じた薬剤の選択」(購入・管理・品質・効率)を最重要項目として実行していかなければならない事を痛感した。

医療法人大平会 病院機能分担の状況(平成21年4月以降)



病院機能区分による薬剤師の役割

第一病院
急性期

- ・ 疾病治療に必要な新薬の情報
収集と分析・選択と採用
- ・ 入院患者の持参薬の分析

回復期

- ・ 包括制に準じた薬剤選択

リハビリ病院
慢性期

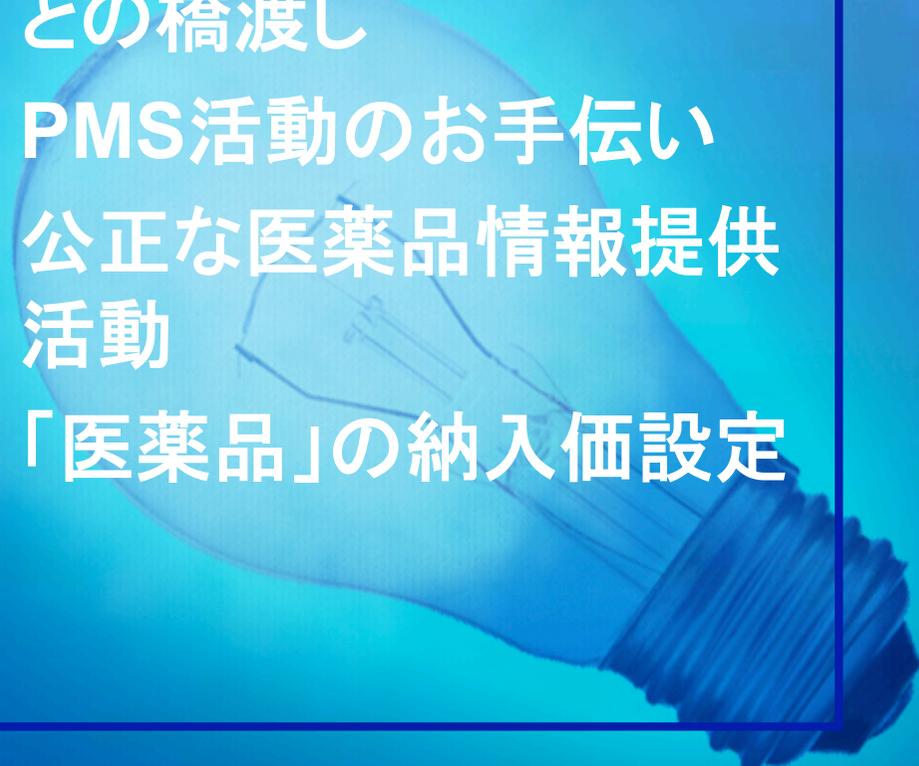
- ・ 包括制に準じた薬剤選択
- ・ 慢性期＝高齢者の服薬管理
「簡易懸濁法」の導入
徘徊・転倒防止

医薬品流通における関わり

製薬会社【MR】

- ・「新薬」の製品紹介、情報提供、説明会の開催
- ・地域における「学術講演会」の開催
- ・院内、薬局内における「症例検討会」の開催
- ・治験データ、臨床データ、その他製品データの提供
- ・独自のセミナーの開催

卸【MS】

- ・「医薬品」の配送、商品管理、商品回収
 - ・お客様中心にメーカーとの橋渡し
 - ・PMS活動のお手伝い
 - ・公正な医薬品情報提供活動
 - ・「医薬品」の納入価設定
- 

「医薬品流通」の分類

物流

医薬品そのものの流れ

情報流

製品情報の取得

商流

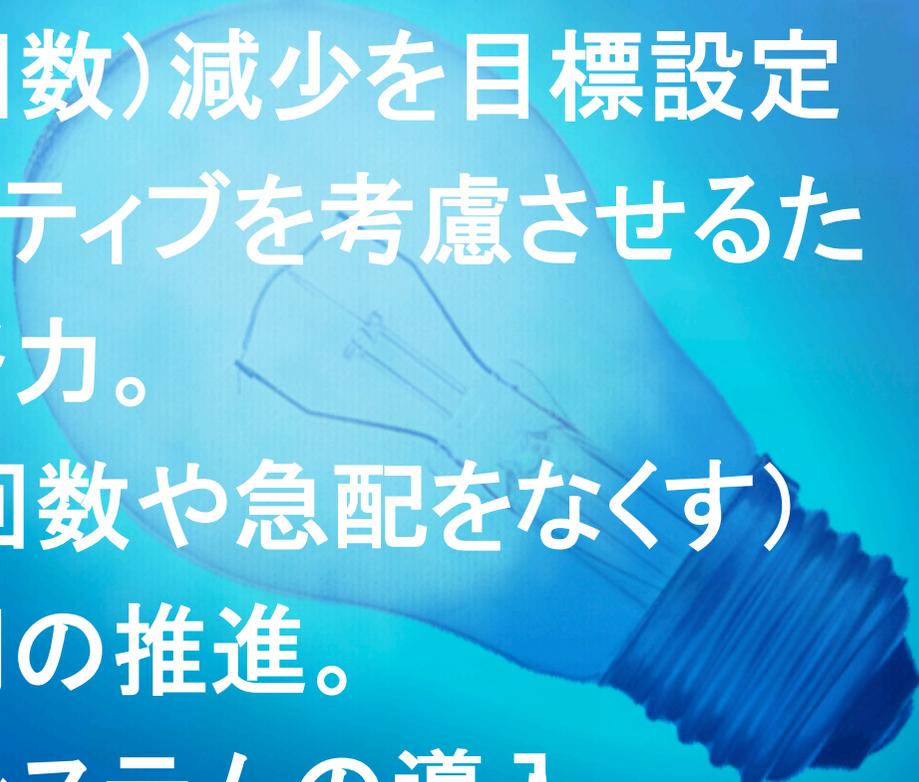
資金流

決済・価格決定

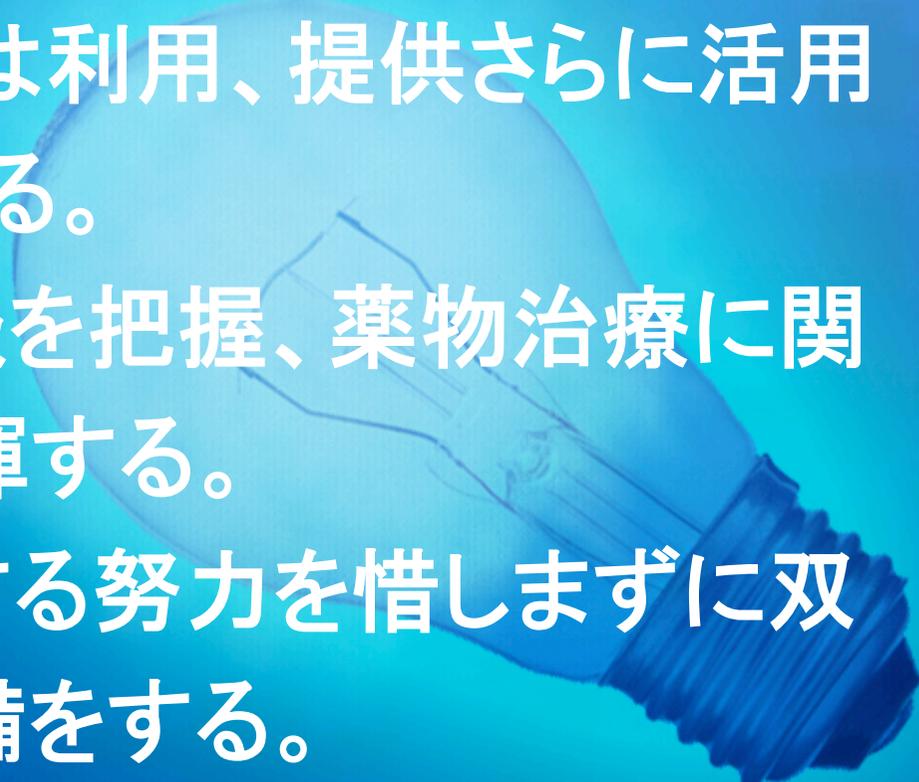
その他

業務に関わる各種
サービス

薬剤部における取り組み「物流」 「ローコスト物流への貢献」

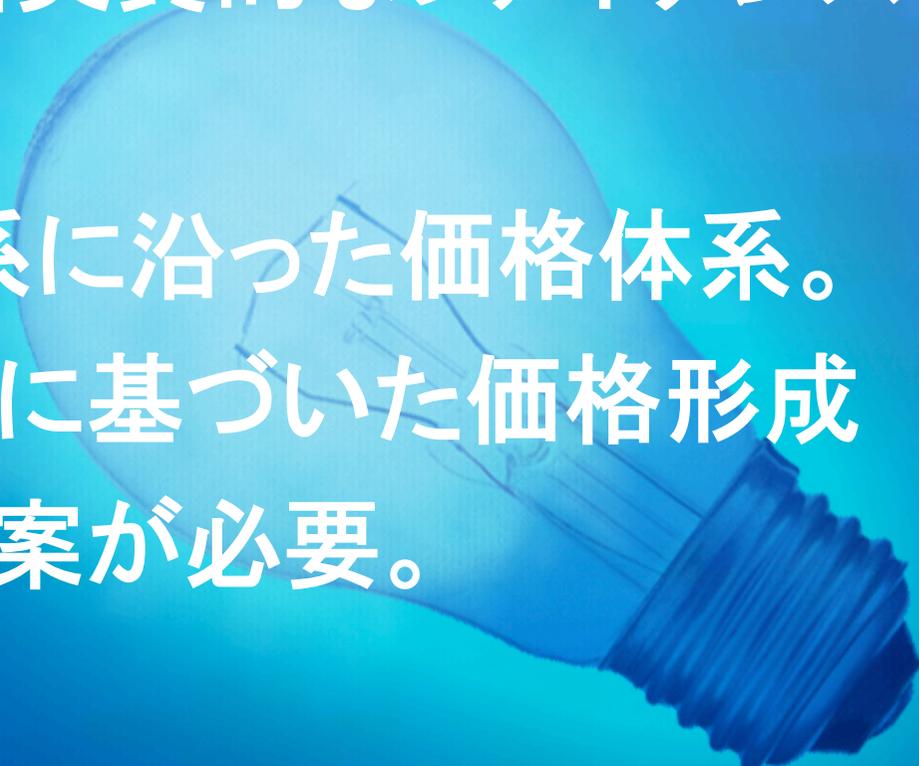
- ・PCによる発注、検収、使用数での在庫管理
(月単位での需要予測、2病院・1施設による
在庫共有化、受注発注対応薬品設定など)
 - ・デリバリー回数(発注回数)減少を目標設定
し、卸に対してインセンティブを考慮させるた
めの物流を改善する努力。
(日単位のデリバリー回数や急配をなくす)
 - ・ジェネリック医薬品採用の推進。
 - ・直接購入支援型流通システムの導入。
- 

薬剤部における取り組み「商流」 「情報流」・「製品情報提供の効率化」

- ・MR/MSによる“face to face”の情報提供の最少化を目指す。(IT等を活用した情報提供の推進)
 - ・情報が有益か無益かを専門性を活かした的確に確認、判断し、有益な情報は利用、提供さらに活用し、無益な情報は割愛する。
 - ・患者の疾病に関する情報を把握、薬物治療に関してのイニシアチブを発揮する。
 - ・情報の非対称性を解消する努力を惜しまずに双方が納得する基盤の整備をする。
- 

薬剤部における取り組み「商流」

「資金流」・「価格決定、決済等に関する改善点」

- ・半年以内の価格妥結を推進。
 - ・「消化払い」「翌月払い」実質的なファイナンス（金利ゼロ）
 - ・メーカーのマージン体系に沿った価格体系。
 - ・卸側による経済合理性に基づいた価格形成と、病院側の具体的提案が必要。
- 

薬剤部における取り組み「商流」

その他・・・「付加的サービスの必要性の検証」

- ・製薬会社の説明会における飲食物提供や販促品の提供廃止。

（自立的医薬品流通の阻害要因の撤廃）

- ・多品種多品目自体が高コスト体質を惹起。

（品目数の絞込みが効果的）



薬剤部のInitiative

- ・GE医薬品への変更と採用。
 - ・医薬品説明会・症例検討会の開催。
 - ・医薬品の評価を行い、採用と削除の提案。
 - ・「薬剤の選択・適正使用」を基準とした「処方設計」への介入。
 - ・院内・院外処方箋の発行基準と形態。
(商品名処方から一般名処方への移行)
- 

「薬物治療」の三権分立

医師

【処方権】

薬剤
の
処方設計

治療方針
の
説明責任

選択

薬剤の選択
適正使用

薬剤選択
の
説明責任

薬剤師

【調剤権】

患者

【選択権】

選択

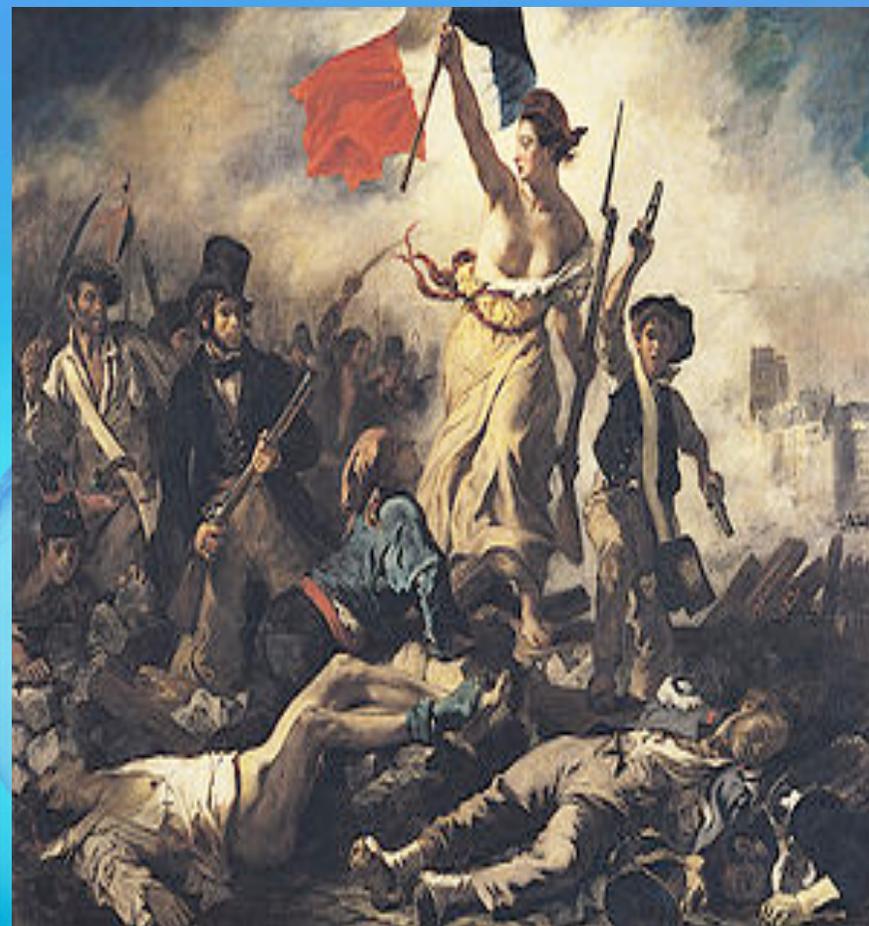
ご清聴ありがとうございます。

- ・オリンピックでのメダルは「資格」「保障」といった気の利いたものではなかったが、「夢」を追い続け、自分自身に対する「挑戦」を続けたことに心から「満足」している。
- ・「行動しない」ことによる後悔よりも、「行動した」ことによる後悔の方が何倍も「自己の確立」のためになっている。
- ・「夢」「目標」は「依存」からは成し得ない、便利さをあえて自分自身で工夫して不便さに変える「勇気」を持つこと。

「バレーボールと私～いつも燃えていたい～」

三屋 裕子

第2回日本ジェネリック医薬品学会 特別講演より



『民衆を導く自由の女神』
フランス7月革命 1830年7月